

熊本県福祉サービス第三者評価結果公表基準（概要版）

1 福祉サービス事業者情報

(1) 事業者概要

事業所名称：社会福祉法人 二楽会 (施設名) 浜町乳児保育園	種別：保育所
代表者氏名：理事長 後藤 峰晴 (管理者) 園長 後藤 峰晴	開設年月日： 昭和50年6月1日
設置主体：社会福祉法人 二楽会	定員：30名
経営主体：社会福祉法人 二楽会	(利用人数) 39名(11月1日現在)
所在地：〒861-3543 熊本県上益城郡山都町上寺1993-1	
連絡先電話番号： 0967-72-0546	FAX番号： 0967-72-0656
ホームページアドレス	http://nirakukai.at-ninja.jp/

(2) 基本情報

サービス内容（事業内容）	施設の主な行事
産休明けから3歳未満児までの保育・延長保育・土曜保育・一時保育	運動会・クリスマス発表会・遠足・七夕飾り・豆まき
居室概要	居室以外の施設設備の概要
・木造亜鉛メッキ鋼板ぶき平家建 ・各保育室、事務室、ランチルーム、調理室	・園庭、駐車場、畑

職員の配置

職種	常勤	非常勤	資格	常勤	非常勤
園長	1		保育士	4	5
主任保育士	1		幼稚園教諭	4	5
保育士	3	6	調理師	1	1
調理員	1	1	看護婦		1
看護師		1			
合計	6	8	合計	10	12

※ 資格の種別は、保健・福祉・医療に関するものを記入しております。

※ 複数の資格を持ち重複計上している場合があるため、職種と資格の数は必ずしも一致しません。

2 理念・基本方針

- 家庭的で暖かな雰囲気の中で子どもの要求をしっかりと受け止め、感性豊かな子どもに育てる。
- 人との関わり（行事等）の中で愛情と信頼感、思いやりのある心を育てる。
- 保護者との連携を深め、共に育ちあうつながりを大切にする。

3 施設・事業所の特徴的な取組

- 開園当初から、0～3歳未満児までの保育園として専門に取組んできた。年齢ごとに3組に分け、それぞれを観察等して心身の成長を促している。
- 周辺を散歩して、四季を感じている。
- 食育として、畠で収穫し、地元の食材を活用した給食を提供している。また、毎月誕生会を実施し、保護者にも園児と一緒に給食を食べていただいている。
- 祖父母参観時に七夕飾りを行い、一緒に給食を食べていただいている。
- 英語レッスンや体操教室でそれぞれの基礎を学んでいる。
- 運動会や発表会では、0・1・2歳児それぞれの成長や努力の成果を披露している。
- 住宅地の保育園であるため、地域との交流を深めている。また、災害発生予想時の避難場所として施設活用を地区へ申し入れている。
- 送迎バスを所有しない反面、園児送迎時に保護者に対して保育・育児の相談等の支援ができている。
- 施設は、平成26年3月に移転新築した。木造作りのため木の香り等による園児の心の安定化に寄与している。また、保育の様子がよく見えるように、事務室の開放観を感じてもらうために窓を多く設置した。

4 第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成27年5月1日（契約日）～ 平成28年1月5日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（平成 年度）

5 評価結果総評

◆特に評価の高い点

1 軸として詳細な中長期計画

法人としての中長期計画を立てています。人口推移と園児数の推移、社会福祉法人の課題、同制度改革、当法人「二楽会」の課題と分析、中長期計画における人材育成の道筋、積立金の活用方法が、詳しく述べられています。子供の育児を楽にする（一楽）、高齢者の介護を楽にする（二楽）という法人設立趣旨に沿って、読む人にとって分かりやすい記述がなされています。

2 乳幼児保育に特化した園

御船町からの445号線、美里町からの218号線が十字に交差する八朔祭で有名な浜町（旧矢部町）の入口に位置した保育園です。近くには山都警察署があります。

地域の住民の方々の要望により、昭和45年無認可保育所「浜町育児園」を前理事長が開設したのが始まりで、その後昭和50年「社会福祉法人二楽会 浜町乳児保育園」とし

て認可保育所となり、平成26年3月現地に新築移転しました。3歳未満児に特化した経験豊富で、子ども全員に目が届く保育園です。

玄関を入ってすぐ左側に休憩室が設けられ、日頃は職員が使用していますが災害時には近所の方々の避難場所として利用出来るようになっています。災害、火災対応マニュアルが策定され、乳幼児に応じた避難訓練が実施されています。防災行政無線、自家発電施設整備（太陽光発電）や住民一時避難室の提供など自治体、地元行政区や関係機関と連携した体制がとられています。

3 オール電化でバリアフリー

温かみのある木造建築でオール電化、バリアフリー構造となっています。車いすでも往来でき、トイレは自動照明となっており衛生的です。車いす用のトイレも設置しております。太陽光発電システムを取り入れてあり、長期停電時には配電箱に非常用発電機を接続して利用できるようになっています。

玄関を入ると、ブロンズ像の少女が出迎えてくれます。文化勲章受章作家の作品で、子ども達は毎朝「おはよう」と声をかけながら、一人一人頭を撫でて親しんでいます。他にも熊本出身の絵本作家のものをはじめ数点の絵が掛けられ、乳児期から芸術作品に触れることが出来ます。

廊下は200m²の広さがあり、0歳児のハイハイに絶好の場所になっています。また、ジヤングルジム・平均台・鉄棒・ボルダリング（壁のぼり）などが置かれ、雨の日の1・2歳児の遊び場となっています。

廊下には3本の太く丸い柱がありますが、熊本の杉と檜を使い特殊な加工を施し強度を高めた柱です。

4 乳児保専門の特色を生かした取り組み

一人ひとりの子どもとの触れ合いを大切にし、おむつ交換は保育士の姿勢に配慮したおむつ交換台を使用して、声かけやスキンシップを大切にしています。一人ひとりに合わせた授乳や発達段階に応じた離乳食は前期・後期に分け、量や内容など工夫配慮されています。保護者からは「相談に応じてくれる。一人ひとりの子どもをよく知っている」などの声も聞かれ、保護者の信頼の強さが伺えます。

「乳幼児における保育は、年齢に見合った心身の成長を、愛情を持って保護者と共に見守る」という園長の思いが、保護者とともに共有されています。

5 赤ちゃん体操・ベビーマッサージ

0歳児室には赤ちゃん体操の分かり易いイラストが貼られ、3ヶ月～4ヶ月=反射の体操、4ヶ月～6ヶ月=姿勢の体操など、立ち上がりまでの身体的機能を高める体操を毎日行っています。

ベビーマッサージは夏場、オイルを使って行い、乳児の心身に心地よい刺激を与えていきます。

7年ほど前から異文化交流の観点で、月2回外部講師による英語教室が行われています。やさしい英語の歌を歌い、カードを見て英単語の発音をしています。

体操教室も外部講師により月3回行なわれ、1歳児は安全に配慮しながら、マット・平均台・鉄棒などに取組み、2歳児はボール・縄跳びなども行っています。

◆改善を求める点

1 マニュアルの仕上げに期待されます。

ボランティアや体験学習等は、乳幼児と接する場合の注意事項など気を付けてほしい事項等を、マニュアル化し安全に体験が出来るように、十分な説明が必要と思われます。

保育の部分で2~3点マニュアルが無く、標準的なマニュアルの整備が望れます。

2 権利擁護に関する規程と文書管理規程の充実

人権尊重については、保育課程に規定し、重要事項説明書により権利擁護について周知に努めています。権利擁護に関する基本的な知識と意識の向上を図るため、関係マニュアルの整備と保育の場面ごとの留意事項等の周知が期待されます。

記録の管理については、運営規程による文書管理が行われています。個人情報の取り扱いについては、重要事項説明書により保護者総会においての説明が検討されています。個人情報保護に関する職員研修や、簿冊による文書と電子データの具体的な文書管理規程と、関連する個人情報保護規程の充実が期待されます。

6 第三者評価結果に対する事業者のコメント（400字以内）

(H27.12.16)

今回の受審にあたり配布していただいた資料の「熊本県福祉サービス第三者評価基準」に目を通してみて、①難しい ②似たような項目がある ③本園には無い ④先生達にチェックしてもらうけど大変 ⑤勉強になる という第1印象でした。

受審前にまず、受審スケジュールと受審要領を明確にし、職員へ周知しました。

それから評価基準を点検しました。点検していると、各項目の資料が明確になっていき、ホッとしたり、未作成だったりと当園の状況が明らかになっていきました。

保護者アンケートでは、当園の保育を高評価していただき、職員・保護者に感謝いたします。

また、調査員による実地調査では、本園の保育状況を職員目線で詳細に調査していただき、コメント欄に反映され、わかりやすく・詳細なものとなっていました。

残念ながら、取組みの不十分さや資料不足の項目は、今後、職員と協力しながら改善していきたいと思います。

最後に、今回の第三者評価は勉強になりました。公表されている各園の状況が理解され、当園の今の状況が分かり、今後、何をすべきか明確になりました。今回、受審にあたっていろいろとご助言やお褒めの言葉をいただき、評価機関の「NPO法人だれにも音楽祭」に感謝いたします。